

新婦人の「米不足・米価高騰緊急オンラインアンケート」結果のまとめ

2025 年 5 月 20 日 新日本婦人の会

新日本婦人の会は 4 月 25 日～30 日、米不足・米価高騰について消費者の意識・動向をつかむ目的で、緊急オンラインアンケートをおこないました。物価高騰による実質賃金の低下、年金の目減りのもとで、スーパーの 5 kg の米価格が 4233 円（4 月 21 日～27 日）と前年同期比の 2 倍というなか、短期間に 47 都道府県 4422 人から回答が寄せられ、そのうち子育て中などの 50 代以下の回答者が 1037 人、70 代以上単身者も 473 人いました。以下、Ⅰ全回答者、Ⅱ50 代以下、Ⅲ70 代以上単身者をそれぞれ分析しました。

緊急アンケートまとめの全体からみえたこと

〔6 日間で 4422 人の回答〕 6 日間の緊急アンケートにもかかわらず、全都道府県 4422 人から回答があり、主食である米問題について切羽詰まった関心が示されました。どの年代にとっても、暮らしが圧迫され、何らかの工夫をせざるをえないこと、農政の大転換を求めていることが、アンケート結果から浮き彫りになっています。

〔購入量や回数を減らした〕 50 代以下で「お店での購入量や回数を減らした」世帯が 2 割にのぼっていることが注目されます。18 歳以下の子どもがいる世帯ではお米が足りない分をどうしているかみると（複数回答）、「パンや麺で」が 8 割近く、「ごはんの量を減らす」「調理方法で少ない分をカバー」をあわせて 4 割ほど。食べ盛りの子どもが我慢している姿が目に見えます。また、70 代以上の単身者では「バックご飯、モチで」が 2 割を超えています。

〔被服費など削る、削るものないも〕 お米が高くなった分、何か削ったりしているかをたずねると、全回答者では、被服費、旅行・交際費を削っているが 5 割近く、70 代以上単身者ではそれぞれ 5 割を大きく超えています。また、全体でも、「削れるものがないので出費が増えている」は 4 割ですが、子育て世帯で最も多い回答がこの項目で半数近く、家計のきびしさが見えてきます。

〔5 kg 2000 円台が望ましい〕 消費者にとって国産米 5 kg でいくら位が望ましいかでは、暮らしが苦しい中、また主食の米であるだけに、「高騰前の 2000 円台」を 6 割の人があげたことは、自然なことではないでしょうか。

〔国産米を 99%、アメリカ産米いらない 9 割超え〕 国産米を食べたいがほとんどの回答といえる 99%。その裏返しとして、アメリカ産米輸入を増やさなくていいが 9 割超えも納得できます。国産米を食べたい理由では共通して、安全・安心だから、おいしいから、農家・農業を守りたいからなどです。アメリカ産米を増やさなくていい理由も、農家を守りたい、自給率の大事さや主食だから、農薬の心配などがあがっています。

〔消費者が選ぶ農業への支援策〕 創立以来 63 年、新日本婦人の会は、食の安全と農業の発展を重要な要求としてとりくんできました。それだけに、このアンケートでも農家・農業支援の中身の選択を示し、また自由に意見を書いてもらう設問も入れました。主食である米の不足、米価格の 2 倍化という異常事態への消費者の怒り、消費者には手頃に購入できる米価格を、資材費も賄えず生活が成り立たない生産者への労りと農家への所得補償をなどと願う声があふれていました。

〔対立・分断でなく政治を変える〕 主食の米をめぐり、消費者と生産者を対立・分断させるのではなく、農業を基幹産業と改めて位置づけなおし、食と農を大事にする政治への大転換こそ求められます。7 月の参議院選挙は、米問題、農業問題が大きな争点です。有権者として今ほど確かな選択が必要なときはありません。

I 全回答者(4422人)のまとめ

<回答者の属性>

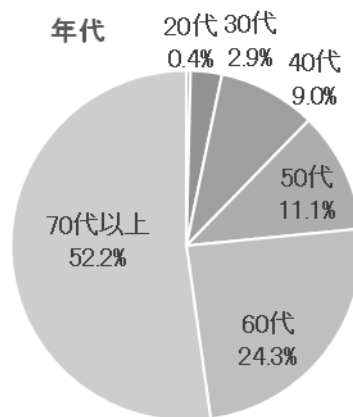
■世代比率

20代0.4%、30代2.9%、40代9.0%、50代11.1%、60代24.3%、70代以上52.2%。

■同居の家族数と18歳以下子ども数

同居家族数は、2人44.9%、3人19.3%、1人15.6%、4人11.9%、5人以上7.2%。2人が最も多く、1人も比較的多いのは、60代と70代以上で回答者の4分の3を占めている反映です。

同居の18歳以下の子どもがいる世帯は18.6%です。世代別では、40代(40.2%)、50代(20.8%)、30代(11.3%)などですが、70代以上(19.6%)と60代(7.6%)には、18歳以下の孫も含まれていると思われます。子ども数は1人7.5%、2人7.1%、3人2.7%、4人1.0%、5人以上0.3%でした。



<米購入に苦労し、対応>

■月5kgが4割、子育て世帯75%が10~20kg以上

高騰前の月平均のお米の購入量は、回答者全体では、5kg41.7%、10kg22.7%、2kg20.9%、15kg7.6%、20kg4.8%。18歳以下の同居の子がいる世帯では「月10kg~20kg以上」が74.6%。他方、70歳以上単身者では月平均2kgが65.1%でした。

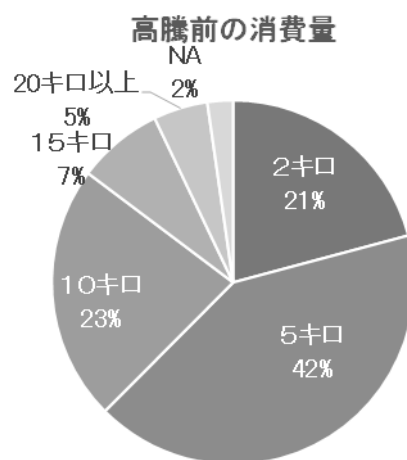
■50代以下で「米の購入量・回数減」2割

お米の購入はどうしているか。全体では、「値段は上がったが、産地直送の契約米が手元に届いている」37.3%、「従来通りの量を、スーパーや生協、米屋などで購入」37.2%、「縁古米や知り合いからもらっている」16.3%。「お店の購入量や回数を減らした」は9.2%ですが、50代以下では19.8%で2割にのぼっています。

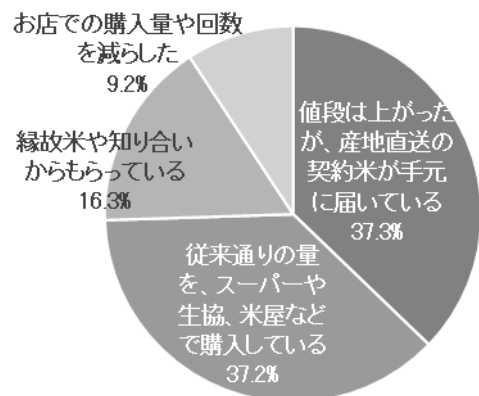
なお、農水省調査「米の消費動向調査」(2025年3月分)の「生産者からの直接購入」(5.2%)、「家族・知人などから無償で入手」(13.3%)と比べても、本調査は60代以上で米産直契約の回答者が多いため、産地直送の数値が特に高くなっています。

■被服費や旅行・交際費を削る5割、削るものない4割

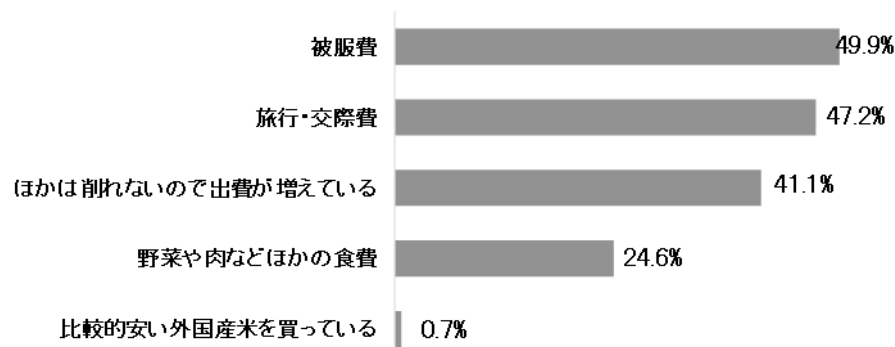
米が高くなった分、何か削ったりしているか(複数回答)。全体では、「被服費」49.9%、「旅行・交際費」47.2%、「野菜や肉などほかの食材」24.6%。「ほかには削れないので出費が増えている」も41.1%、50代以下で18歳以下の子がいる世帯ではこの項目が最も多く48.0%です。70代以上の単身世帯では、削っているものとして「被服費」(54.5%)、「旅行・交際費」(53.7%)がともに5割を超えています。「比較的安い外国産米を買う」は全体で0.7%、そのうちアメリカ産が7割でした。



お米の購入はどうしていますか

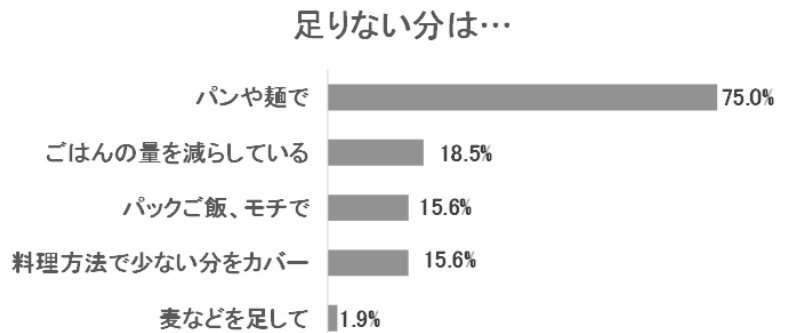


家計で削っているものは…(複数回答)



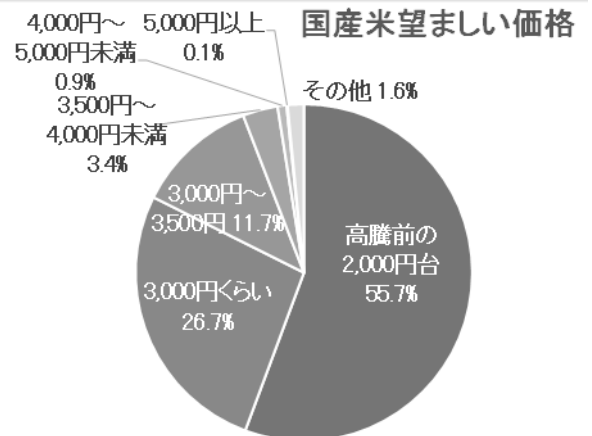
■不足分はパンや麺で 75%

お米が足りない分をどうしているか(複数回答)。全体では、「パンや麺で」(75.0%)、「ごはんの量を減らしている」(18.5%)、「パックご飯、モチで」と「料理方法で少ない分をカバー」が同じ 15.6%でした。



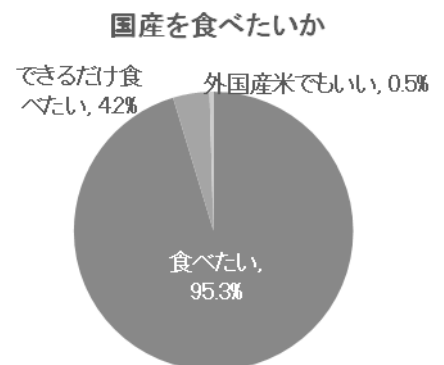
＜国産米の望ましい価格「高騰前の 2000 円台」56%＞

消費者にとって国産米 5 kg でいくら位の価格が望ましいか。全体では、「高騰前の 2000 円台」55.7% (50 代以下では 60.3%)、「3000 円くらい」26.7%、「3000 円～3500 円」11.7%。その他欄に「生産持続可能な価格を」の声もありました。



＜国産米を食べ続けたい 99%＞

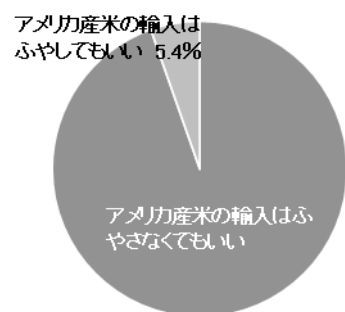
国産米を食べ続けたいか。全体では、「できるだけ」(4.2%)を含め、「食べ続けたい」が 99.5%。理由として、「米は日本人の主食。米が合うように体ができているはず。どこでどう作ったかわからない輸入米に頼れば、安全性が低下。米農家が減る」(40 代)、「日本の農業、稲作、水田を守りたいから」(60 代)などと記されています (別資料)。「外国産米でもよい」は 0.5%でした。



＜アメリカのコメ輸入 増やさなくていい 95%＞

トランプ関税でアメリカが日本にコメの輸出を増やそうとしていることについて。全体では、「増やさなくていい」が 94.6%。理由に「自国で米が採れるのにアメリカから輸入する意味がわからない」(30 代)、「安全性に不安。非常事態に輸入できない。日本の農業を守りたい」(70 代以上)などの声があがっています (別資料)。「増やしてもいい」は 5.4%です。

トランプ関税でアメリカは日本へ米の輸出を増やそうとしてますが

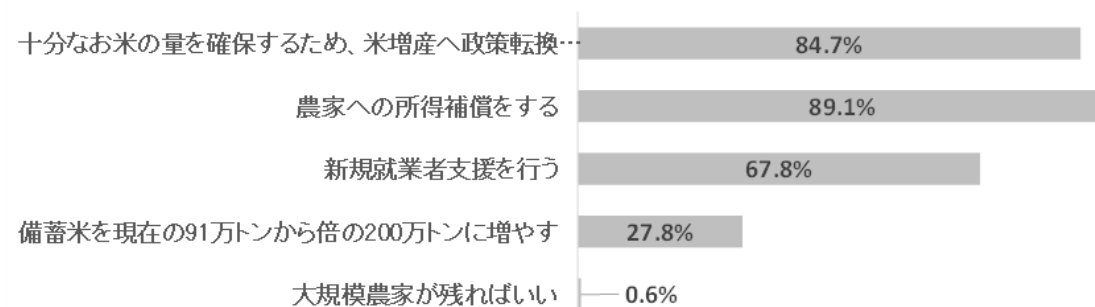


＜主食米の確保は国の責任＞

■所得補償、米増産 9 割

農家・農業支援のため、消費者として国に何をしてほしいかを選択 (複数回答)してもらいました。回答者全体で、「農家への所得補償をする」89.1%、「十分なお米の量を確保するため、米増産へ政策転換を公表し、農家の意欲を促す」84.7%、「新規就業者支援をおこなう」67.8%、「備蓄米を現在の 91 万トから倍の 200 万トに増やす」27.8%でした。

消費者として国に何をしてほしいか(複数回答)



■農政への怒り、農政転換を求める声

米不足・米価高騰、日本の食と農業への意見を自由記述で聞きました（別資料）。

「食べることは生きること、生きる楽しみ。米が高く家計が苦しい消費者、頑張っても生活が保障されず、後継者がなく持続不可能な農業とみんな苦しい。それを救うのが政治の役割」（20代）、「すべて民間市場任せで米不足や価格高騰が起こった。輸出推進よりまず国内優先に」（60代）と怒りがあふれています。合わせて「小規模農業を大切に、所得を保障することが持続可能な農業と多様性を守る」（50代）、「主食米は政府が農家から適正な価格で買い取り、国民に安価で供給する農業政策を」（70代）と求める声もつづられています。「消費者が農政に関心を持ち、政策を変えるために動く。農業を大事にする政権へ、有権者が尽力することが大事」（50代）など、選挙を意識した記述も多くみられました。

Ⅱ 50代以下(1037人) のまとめ

<回答者の属性>

■世代比率

1037人中、10代0.1%、20代1.5%、30代12.2%、40代38.6%、50代47.5%。

■同居家族数と18歳以下の子ども数

50代以下の回答者全体で、同居家族数は4人32.6%、3人24.7%、2人17.9%、5人以上16.1%など。うち同居家族に18歳以下の子どもがいる回答者は598人で、全体の57.7%です。子ども数は1人と2人がともに40.0%、3人が14.2%、4人が4.5%、5人以上が1.3%。同居家族数は、4人43.6%、5人以上25.6%、3人25.3%、2人4.2%となっています。

<米の購入に苦労し、対応>

■子育て世帯75%が月平均10～20kg以上

高騰前の月平均の米の購入量を聞くと、50代以下全体では、10～20kg以上が59.0%（10kg31.6%、15kg15.7%、20kg以上11.7%）、5kgは29.3%。18歳以下の子が同居する世帯では、月10kg～20kg以上が74.6%（10kg38.0%、15kg19.4%、20kg以上17.2%）にのぼり、5kgは22.1%でした。

■50代以下で「米の購入量・回数減」2割

お米の購入はどうしているか。全体では、「従来通りの量をスーパーなどで購入」（39.2%）、「産地直送の契約米」22.2%、「縁故米や知り合いから」（18.8%）。「お店での購入量や回数を減らした」（19.8%）が2割にのぼっています。

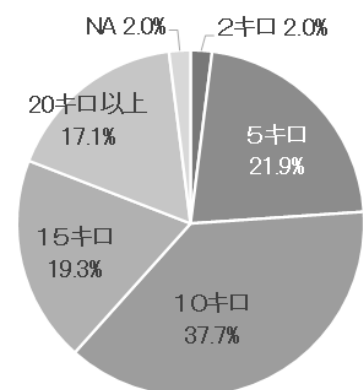
■ほか削れず出費増が子育て世帯で5割

お米が高くなった分、何か削っているものがあるか（複数回答）。18歳以下の子がいる世帯では「ほかは削れないので出費増」が最も多く48.0%（50代全体42.5%）にのぼります。子育て世帯で削っているものをみると、旅行・交際費46.4%（42.0%）、被服費43.6%（39.4%）、他の食材26.8%（25.9%）と、カッコ内の50代全体より多いこともわかります。「比較的安い外国産米を買う」は50代以下で1.2%、そのうちアメリカ産が63.2%でした。

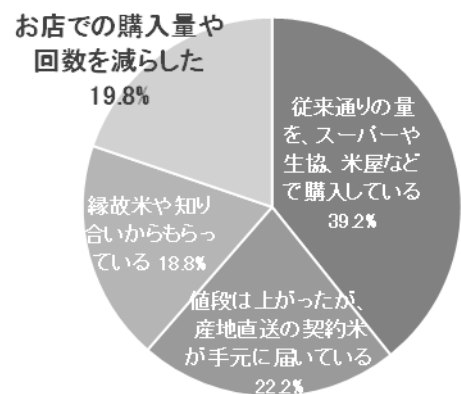
■お米が足りない分、パンや麺類78%

お米が足りない分をどうしているか（複数回答）。子どもがいる世帯でみると「パンや麺で」（77.5%）、「ごはんの量を減らしている」（20.0%）、「料理方法で少ない分をカバー」（17.1%）、「パックご飯、モチ」（10.4%）でした。

高騰前の消費量(50代以下)



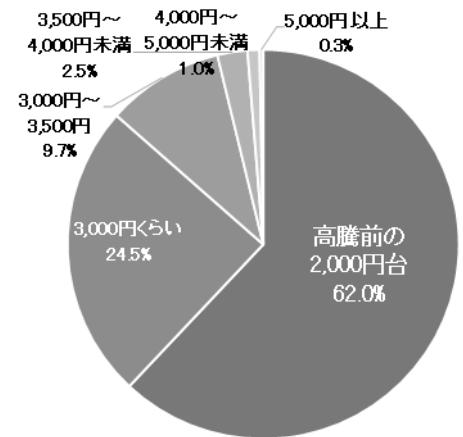
お米の購入はどうしていますか(50代以下)



国産米の望ましい価格(50代以下)

<国産米の望ましい価格「高騰前の2000円台」が6割>

消費者にとって国産米 5 kgでいくら位の価格が望ましいか。全体では、「高騰前の2000円台」(60.3%)、「3000円くらい」(23.8%)、「3000円～3500円」(9.5%)、「3500円～4000円未満」(2.4%)などで、子どもがいる世帯もほとんど同じです。



<国産米を食べ続けたい99%>

国産米を食べ続けたいか。全体では、「できるだけ」(6.3%)を含め、「食べ続けたい」が99.4%、子ども同居世帯でもほぼ同様です。その理由として、「米は日本人の主食。米が合うように体ができているはず。どこでどう作ったかわからない輸入米に頼れば、安全性が低下。米農家が減る」(40代)、「第一に美味しいから！そして、食べ物を作っている地元の農家を支えたいから。フードマイルもできるだけ少なく、体にも環境にも優しい地産地消が大事だから」(50代)などと書かれています(別資料)。「外国産米でもよい」は0.7%でした。

<アメリカ産米輸入 増やさなくていい9割>

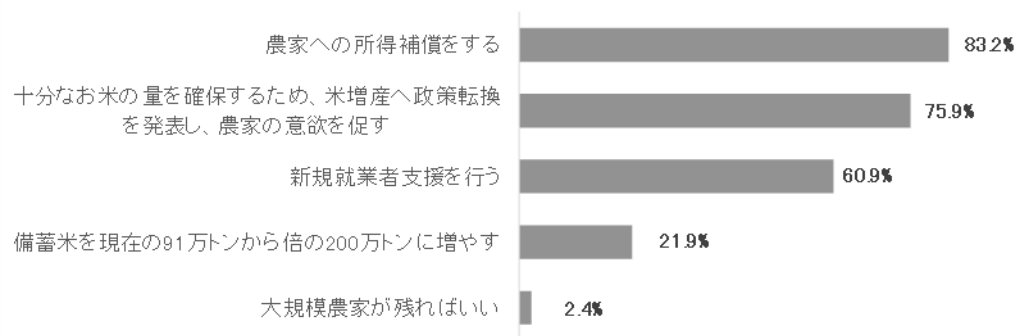
トランプ関税でアメリカが日本にコメの輸出を増やそうとしていることについて。全体では、「増やさなくてもいい」が90.4%、子ども同居世帯もほとんど同じ。理由として、「主食の米は単なる輸入品とは違うので、国策でしっかりと守るべき」(50代)、「自国で米が採れるのにアメリカから輸入する意味がわからない。いくら安くても買わない。その分、自国の農業を支援してほしい」(30代)など(別資料)です。「増やしてもよい」は9.6%で、理由は「消費者が選べばよい」「安いコメを市場に」などです。

<主食の米確保は国の責任>

■所得補償、米増産…8～7割超え

農家・農業支援のため、消費者として国に何をしてほしいかを選択(複数回答)してもらった。全体では、「農家の所得補償」(83.2%)、「米の増産」(75.9%)、「新規就業者支援」(60.9%)、「備蓄米を200万トン」(21.9%)。いずれも子どもと同居世帯も同じ傾向です。「大規模農家が残ればよい」は全体で2.4%(18歳以下の子どもがいる世帯1.2%)です。

消費者として国に何をしてほしいか(50代以下、複数回答)



■今の農政への怒り、農政転換を求める声

米不足・米価高騰、日本の食と農業への意見を自由記述で聞きました(別資料)。「食べることは生きること、生きる楽しみ。米が高く家計が苦しい消費者、頑張っても生活が保障されず、後継者がなく持続不可能な農業とみんな苦しい。それを救うのが政治の役割」(20代)、「国民の命や暮らしより、金と権力を優先する社会で安心して生きていけない！子どもたちに安心して暮らせる社会、希望ある社会を」(40代)と怒りがあふれています。「小規模農業を大切に、所得を保障することが持続可能な農業と多様性を守る」(50代)、「消費者が農政に関心を持ち、政策を変えるために動く。農業を大事にする政権へ、有権者が尽力することが大事」(50代)など農政の転換を求め、選挙を意識した記述も多くみられました。

Ⅲ 70 代以上単身者(473 人)の特徴

全回答者の 10.7%にあたる 437 人の 70 代以上の単身者に注目してみました。全回答者や 50 代以下の回答者と共通する傾向が多いのですが、特徴がみえるものもあります。

- ① 高騰前の従来の月平均お米の購入量は、2 kg 65.1%が最も多く、当然ながら家族数による差が出ています。
- ② 米の購入をどうしているかでは、一番多いのが「従来通りの量を、スーパーや生協、お米屋などで購入」42.5%。全回答者、50 代以下回答者と比べてもこの項目の 4 割超えは、70 代以上単身者だけです。
- ③ 米価格が高くなった分、削っているものは、被服費 54.5%、旅行・交際費 53.7%と 4 割超えで、50 代以下と比べてそれぞれ 15～12 割も多く、世代の特徴が出ています。
- ④ お米が足りない分はどうしているか。「パンや麺」(73.9%)の次に多いのは、「パックご飯、モチ」(20.6%)で、50 代以下で 18 歳以下の子がいる世帯 (10.4%)の倍になっています。パックご飯は安くはないものの一人暮らしに便利であり、モチも 70 代以上で食べ慣れている特徴が出ていていると思われます。

<緊急オンラインアンケート>米不足・米価高騰について消費者の声をお聞かせください

2025 年 4 月 新日本婦人の会

主食のお米の価格高騰がとまりません。全国の米の消費量は月平均 60 万ト、しかし米が足りない実態も明らかになっています。消費者の声をお聞かせください。アンケートは 4 月 30 日(水)まで。該当する□にレ点をつけてください。

() 都道府県

□20 代以下、□30 代、□40 代

□50 代、□60 代、□70 代以上

<同居家族数(あなたを含む人数)>

同居家族数 □1 人 □2 人 □3 人 □4 人 □5 人以上

そのうち 18 歳以下の子ども数 □1 人 □2 人 □3 人 □4 人 □5 人以上

1、米価高騰のもとで、お米の購入はどうしていますか？

□(1) 従来通りの量をスーパーや生協、お米屋などで購入している

□(2) 値段は上がったが、産地直送の契約米が手元に届いている

□(3) 縁故米や知り合いからもらっている

□(4) お店で購入量や回数を減らした <従来の月平均() kg>

□(5) 高くなった分、何か削ったりしていますか <複数回答可>

□①野菜や肉などほかの食費 □②被服費 □③旅行・交際費 □④他の費目()

□④比較的安い外国産米を買っている(産) □⑤ほかは削れないので出費が増えている

□(6) 米の不足分をどうしていますか？ <複数回答可>

□①パンや麺で □②パックご飯、モチで □③調理方法で少ない米をカバー()

□④食べるごはんの量を減らす □⑤ほか()

2、消費者にとって、国産米 5kg でいくら位の価格が望ましいですか？

□①高騰前の 2000 円台 □②3000 円位 □③3000 円以上～3500 円未満 □④3500 円～4000 円未満

□⑤4000 円～5000 円未満 □⑥5000 円以上 □⑦ほか()

3、あなたは国産米を食べ続けたいですか？

□①国産米を食べたい □②国産米をできるだけ食べたい

その理由は()

□③外国産米でもよい

その理由は() □④わからない

4、日本で多数を占める中小家族農家の離農がとまりません。稲作農家の時間当たり農業所得(時給)は、コロナ禍の 2021 年・22 年が 10 円、23 年でも 97 円。欧米では農家への所得補償をしています。農家・農業支援のため、消費者として国に何をしてほしいですか？ (複数回答可)

□①十分なお米の量を確保するため、米増産へ政策転換を発表し、農家の意欲を促す

□②農家への所得補償をする

□③備蓄米を現在の 91 万トから倍の 200 万トに増やす

□④新規就業者支援をおこなう

□⑤大規模農家だけが残ればいい □⑥ほか()

5、トランプ関税でアメリカは、日本へ米の輸出を増やそうとしていますが、どう思いますか？

□①アメリカ産米は増やさなくてよい

その理由は()

□②アメリカ産米を増やしてもよい

その理由は() □③わからない

6、米不足・価格高騰、日本の食と農業について、ご意見があればお書きください

3、国産米を食べ続けたい理由

<20代>

- ・自分の住む地域でとれたものを消費したい。

<30代>

- ・美味しいお米は日本の宝です。ずっと私たちの食を守ってきた農家さんを、国産米を食べることで守りたい。
- ・安心だし、国産消費量をできるだけ維持して農家さんにも頑張ってもらいたいから。
- ・安心安全が第一。それから、美味しいことと、たくさんの種類があって食べ比べや選んだりするのも楽しい。
- ・子どもに食べさせることを考えたら安心だから。
- ・日本のお米を信頼しているし、日本の農家さんを応援したいし、食料自給率に貢献できたらと思っている。
- ・日本文化の源であり、安心安全なイメージが強い。
- ・ふっくらしていて冷めても美味しい。安心。
- ・地産地消。安心。田んぼのさまざまな価値。コロナのような危機、異常気象で世界的につくれなくなったら輸入超危ない。自国で生産は基本中の基本。
- ・特に産直米は安心安全。子どもが糖尿病患者なので麺類よりも米！更に玄米を食べています。産直米は安心安全なので玄米も安心して食べることができます！！農家さんが安心して作り続けられる農政を！
- ・味が違うし、なぜ日本の主食のお米をわざわざ輸入して食べないといけないのかという気持ちが正直ある。

<40代>

- ・替えの利かない主食であること、味、品質、国産にはかなわないと思います。
- ・米は日本人の主食です。米が合うように体ができているはず。どこでどう作ったかわからない輸入米に頼れば、安全性が低下する。また、米農家が減る。
- ・輸送コストを考えても国産がよいです。そして、国産でも遺伝子組み換えは嫌です。
- ・命をつなぐ、体を作る主食を、外国からの輸入に頼るなんて、有事の際に国に見殺しにされるようなものだと思う。
- ・安心して食べられるし、輸入に頼り出すと国内の農家がいなくなり、いざという時に日本の食料がなくなってしまう。
- ・子どもが、おかずがいらないくらい米好きだから。
- ・特に地元のお米は、顔が見える関係で生産されているので安心感がある。外国産は農薬の心配などがある。
- ・未来の子どもたちに日本人の食文化を伝え、健康を守りたいです。
- ・主食の米を海外産のお米に頼ることは、有事の時などにお米が食べられなくなるため。国内の農業従事者が守っている田畑を衰退させるのではなく、田畑が繁茂している豊かな自然環境を子どもたちに残していきたいから。
- ・日本人や和食に合うお米だし、主食は国内で賄えないと主権が脅かされるし、何かあったら国民が食べられなくなるので。
- ・体内に摂取する全ては地産地消が安心です。
- ・美味しい。食べ盛りの子どものに十分な量を食べさせたい。
- ・やはり、国産米が一番美味しく安心安全だと思うので、子どもの身体や成長にも小麦よりお米を摂取させたいです。我が家の子ども達も、パンなどの小麦製品よりもやはりお米派なので。
- ・輸入に頼ってしまうと、供給が輸出国の気候や政治情勢などに左右されそうに思う。主食を握られると外交カードに使われるのではと不安。
- ・日本人の主食を、海外に頼ってしまったら何かあったときに取り返しのつかないことになるから。また、安心安全な米を食べ続けたいから。
- ・安全性。フードマイレージの問題。米に限らず他のものも出来るだけ国産が良いです。
- ・日本の環境や食料自給率についても国産米は最重要。政府の補償や制度を国内で整えていけば本来 100%自給できるもの。気候危機の下でも生産者が安心して生産できる体制と、消費者が食べるのに困らない状況を価格・収量の面でも政府が保証すべきである。
- ・今いただいている地域のお米を食べ続けたいです。気候変動や急峻な地形に水田を維持管理し続けることは大変な苦労があり、地域の治水であったり、環境保全のためにも水田を残し続けてほしいです。
- ・主食であり文化、日本人としてのアイデンティティに関わる。
- ・安全、安心。食料自給率向上に貢献したい。CO2削減。
- ・農家が続けていける=田んぼが維持できる=農村（むら）が続いていくために。

<50代>

- ・第一に美味しいから！そして、食べ物を作ってくれている地元の農家を支えたいから。フードマイルもできるだ

け少なく、体にも環境にも優しい地産地消が大事だから。

- ・自給率が下がらないように。日本の田園を守り、水を守るため。
- ・安全でおいしい。子どもの頃から食べているものがずっと食べたい。食料自給率をこれ以上下げたくない。
- ・日本の農薬の規定の中で生産されているので安心できるから。海外だとどのように生産されているか見に行くこともできないが、日本なら遠出した時に稲穂を見ることができ、つくっている方も見ることができる。
- ・日本の気候風土で採れたものを食べたい。田んぼ風景が美しい。その周りに住んでいるカエル、ドジョウ、バッタ、スズメたちの姿、声に癒されるため。
- ・日本人は小麦でなく、米が身体に合う遺伝子があるし、日本の食文化を壊したくない。
- ・安全だし、食糧自給率の維持は大切。稲作は日本文化の要です。自然環境にも重要な役割を果たしているから。
- ・大事な主食であり外国に委ねることはできないし、田んぼのある風景は日本そのものだと思うから。
- ・田んぼが無くなったら、田んぼ由来の生物の形態、環境が崩れる。日本の農家が潰れる。絶対ダメ！ お米は美味しいし、国産産はもちもちしていて、日本人に合っている。国産米でも、ネオニコチノイド系農薬を使用しないお米が食べたいです。今は、そうも言っていられない状態なのが悔しいです。
- ・環境、温暖化対策、食料自給率向上、日本の水田、日本の米文化を守りたい。
- ・安心で美味しいから。日本人には日本産が一番合うと思います。
- ・輸入米では食感も違うし、何より安全性の心配がある。また、自国で作れるものは自国のものを食べたい。
- ・安心安全なのと、日本の農家が生活できるようにして田畑を残さないと輸入に頼ってはいは、こうして他国の利益に振り回される。
- ・外国産の農薬量や遺伝子組み換えやプラスチック米が混ぜられている疑念もある。国産米は美味しい、安心安全。日本の稲作技術は世界一だと思うから。
- ・米が好き。食べないと禁断症状がでる。
- ・ポストハーベストや輸入時の薬剤散布の影響が無いから安全だから。

<60代>

- ・美味しい。安全。自国で主食が確保できないのは国として危ういと思う。
- ・自国のものを消費するのが一番だし、美味しい。
- ・産地がはっきりしていて分かるから。農家の人の応援にもなると思っています。
- ・国内産が安心して食べられる。農業の方のためになると思います。
- ・やはり、国内で作られたお米だと安心です。
- ・日本人で、主食で美味しい。何物にも代えられない。
- ・生まれた時から食べているから。
- ・国内で作られたもの、近場で作られたものが新鮮だし安心。運送コストも少なく済む。
- ・粘り、甘み、旨味が違う。
- ・毎日食べるものなので、安全で安心なお米を食べたい。国産米を食べることで、稲作農家を励ましたい。

<70代以上>

- ・小麦を主食にしたら、体が持たない。安心安全の産直のお米を食べたい。国民の食料を輸入に頼る国なんてまっぴら！自給率をなんとしても高めていきたい。そのためにも国産米を食べ続けたい。
- ・日本の農業を守り、田んぼを維持したい。主食である米を自国で生産し安心して食べていきたい。
- ・契約農家の安全な無農薬米をたべたいから。
- ・農薬や除草剤などの使用を出来るだけ少なくしていることが明らかにされている産直米なので。
- ・ずーっと国産米を食べてきたので外国産米なんか食べたくないです。お米まで輸入になったら日本の農業はたち行かなくなります。
- ・できるだけ無農薬・無化学肥料で栽培した米を食べたいから。美味しいから。
- ・お米は国の主食で、国内自給率を上げることが、安全保障の上で大切です。更に、水田は環境保護の上でも大切に、国はお米の増産に力を入れるべきです。アメリカ産米は健康面でも危なく、輸入すべきではありません。
- ・農産物の自給は当然のこと！ 主食であるお米まで他国に頼ってはいは、有事や天候異変の際輸入できず、国民は飢えてしまいます。
- ・主食は100%国内産で賄うべき。安全面、食料安保の面でも。
- ・何がなんでも、日本の農業の衰退を阻止したい。輸入米など頼らず、米に関しては「自給率 100%」にするような農業政策に切り替える事を政府に要望する。
- ・味も大切ですが、土壌、肥料、薬剤が心配だから。安全安心が保障されない。

5、トランプ関税、アメリカ産米の輸入は増やさなくてもいいという理由

<10代>

- ・日本が完全完璧な自給自足すれば良いだけのことだから。

<20代>

- ・アメリカからわざわざお米を輸入する意味が分からない。いくら安くても買わない。その分、自国の農業を支援してほしい。
- ・自国で自給自足ができるのが一番だからです。なぜなら、何もかも輸入に頼る国になると何か起きた時に物が入って来なくなります。今まで100%自給自足できていた米だからこそ、アメリカ産の米を増やすのではなく、自国の支援をして自給自足できる環境に戻るのがベストだと思います。

<30代>

- ・アメリカからの安い米にみんなが飛びついたら、国内の稲作が減びてしまうから。
- ・主食の米は、単なる輸入品とは違うので、国策でしっかりと守るべき。
- ・日本の主食はやはりお米で、それを外国から輸入するのが変。地産地消で、しっかり農家の補償をしながら生産を増やしていくべき。
- ・お米を日本で育てようと頑張っている農家さんたちを応援したい。
- ・日本では各地で様々な農作物が育てられる。農業をしっかり支援する政策を作れば、十分豊かな国になっていけると思う。
- ・国産米の減少につながると困るから。将来的にも国産米を食べたいから。

<40代>

- ・もともと日本のお米が減らされているのに外国産が入ってきてお米が溢れると農家がつぶれてしまう。
- ・輸入にお金使うくらいなら、農家さんの援助に使って欲しいと思う。
- ・国産米を食べたい。日本の米農家に作らせないように持っていく、アメリカから輸入するなんて意味がわからない！アメリカ言いなりにも程がある！
- ・いる？日本で生産するのが望ましいアメリカの言いなりにならなくていい。
- ・国産米が十分であるなら、どこのコメであれ海外産を増やす必要はないと考える。
- ・日本は水も綺麗で豊富に有り、農業に適した土地が沢山有るから。美味しい米作りに適した土地だから。
- ・食品も殆どを輸入に頼っている。これ以上輸入に依存する体制を促進することは間違いだ。せめて主食は100パー日本産としたい。
- ・自給率が減り、数十年後の自分の国を苦しめることになると思うから。
- ・これまで政府の方針として、減反政策や飼料米、他作物への転換を図ってきたが、自国の生産を減らして他国から輸入する様な政策は理解ができない。
- ・100%国内産でいくべきだと思う。主食である米を自給できる農地も技術もあるのに、なぜ外国産を入れる必要があるのか。安いからと外国産を入れることで、農業の衰退に拍車がかかり、戦争や災害で輸入ができなくなった時に、どうしようもなくなるのでは、と危惧しています。
- ・アメリカからは、米以外の農作物をたくさん輸入して、依存しているから。一旦離農してしまったらまた新規に始めることは難しいから。苦勞して農家を続けている方々が報われるようにしてほしい。
- ・主食は自給自足するべき。既に軍事費や思いやり予算でアメリカに対してお金が流れている。
- ・主食である米を外国に依存するのは根本的に間違っている。国内で安定的に生産できるようにするべき。

<50代>

- ・主食である米を外交の切り札につかわれたくない。何かあった時に輸出ストップされたら困る。
- ・安全性、食糧安保の面で心配だから。
- ・食料、それも主食は自国で賄えるようにするべき。そこをアメリカに押さえられると、ますます日本がアメリカの属国化する事になりそうで不安。
- ・米は日本の古くからの農作物です、農家の皆さんが、時給が安くても一生懸命作ってくれているのに、トランプの言いなりになって輸入量を増やしてしまったら、ますます農家のみなさんが苦しくなります。
- ・安全性が不安。外国に頼るのは、国際情勢で何かあったら心配。その国の言いなりになる懸念がある。
- ・食料を取引に使うべきではない。
- ・食は工業製品と同様の扱いは出来ないから。
- ・輸入米に支払うのではなく、日本の農家を支援する方にしたら良いと思うから。
- ・自給率を上げないと、災害時に困る。
- ・輸入に頼ると安心安全のお米が食べられなくなるのと、輸入に頼ると輸入ができなくなった時にお金持ちの人しか食べられなくなる。餓死してしまう。
- ・米は日本の主食であり文化。アメリカ、他国に依存してはいけない。食料自給率をこれ以上下げてはならない。
- ・日本の市場がアメリカに開け放たれるようなことになると、アメリカ産米がドッと押し寄せるようなことになる。営農規模も設備も、それに伴う経費なども桁違いのアメリカ産米が、日本の米農家に大変な圧迫となることは、他の農産物をみれば火を見るより明らか。
- ・農業の越境みたいで、阻止しなければ国産米の市場が荒らされてしまうから。

<60代>

- ・減反をやめて、価格保障をして、お米を作る方を増やすことが大切だと思う。
- ・国米を増やす策をたてる。
- ・国内産の米の農家が困窮するから。
- ・国内食糧は自国で賄うべき。主食を経済交渉の対象にするべきでない。

<70代以上>

- ・輸入ではなく、自国米を増やすことが日本の食料の確保に繋がる。食料飢饉が起これば、輸入はあり得ない。生きるために、自国の農政を見直すべきだ。
- ・農家に減反を押し付けながら、アメリカの言うまま米の輸入を続けてきた政府の方針を、今こそ転換すべき。主食は自給率100%でなければ！ その他も自給率100%に！
- ・アメリカ従属はやめるべき。アメリカの大経営は必ず農薬を大量にまかないとやっていけないはずだし、そんな農薬だらけのお米は口にされるべきではない。特に子どもたちには！ 日本の農家のお米を保証すべき。
- ・今でもミニマムアクセス米を買っているため。
- ・もう十分輸入している（MA米など）。逆に、飲食店の米や米加工品（米菓・もちなど）を国産に戻さないと。

6. 米不足・価格高騰、日本の食と農業について、ご意見があれば

<20代>

- ・食べることは生きることに直結します。農家の方々のおかげで私たちは生きています。また、食は生きる楽しみそのものにもなります。しかし今の状況は、消費者にとってはコメが高いが給料は変わらず家計が苦しい、農家にとっては頑張っても生活が保障されず後継もうまれず持続不可能。ここを救うのが政治の役割。
- ・自分の住む地域や、人を大事にしたい。子どもにも、〇〇さんが作った米(野菜、卵)をたべてもらいたい
- ・食べ物が買えないと生きていけない。この賃金では農家はやっていけない。第1次産業は国の宝です。支援の拡充をして欲しい。ガソリン2重税を廃止して欲しいです。

<30代>

- ・賃金は上がり物価高で生活が苦しい中での、主食であるお米の高騰は大変です。子どもの通う保育園で、米価高騰の影響により昨年から給食費が500円も上がりました。国産の物を食べ続けたいです。メディアは米不足や農業の実態について正しい情報を流してほしいです。
- ・10年先も20年先も100年先の子ども達にも安心して日本の米が食べられるような政策をしてほしい
- ・特に、子どもたちには安心安全なおいしい地元の農作物を食べさせたいです。農業者はどんどん高齢化し、稼げる農家だけが残っていきます。食べることは生きること。安心して生きることが脅かされているように感じます。
- ・農家さんが生活に困らない政策と義務教育での食育などみんなが日本の食を大事にできる環境づくりを国にはしてほしい。
- ・農家には所得の支援を、消費者は安心して国産米を食べ続けられるようにしてほしい。「今までの米の値段が安すぎた」という意見もあるが、給料が上がらない中での物価高騰の連発は消費者はたまったもんじゃない。お腹いっぱいご飯が食べられるように、持続的な農業が実現できるようになれば。
- ・ほんと頼れない政府。信用できない政府。一般庶民の私でもこの米の危機は肌感覚で危ないとわかるよ。このままだと10年後国産の米高くて買えなくなるのでは？農家への補償！！これちゃんとしないと農家増えないよ！
- ・農家のパートをしていましたが、とにかく農具が高額です。追い討ちをかけるように種が作れなくなり肥料が高い。農家の方は頑張っています。普通の暮らしをさせてあげてください。

<40代>

- ・政府がこれまで特に第1次産業を軽視してきたツケが回ってきたと思う。政府は有権者として変えていくしかない。選挙目当てのばらまきなど小手先の政策ではなく、国民の負担を軽くする政策を望みます。
- ・国産米は和食の基本、なくてはならないもの。国民が安心して買える価格で、じゅうぶんな供給量を確保できるよう、国はもっと深刻な問題としてとらえてもらいたい。食べ盛りの子がいる家庭にとっては、この価格と長期間思うように手に入らない状況…切実です。
- ・この間の減反政策は愚の骨頂です。即刻停止、増産と農家の所得補償に舵を切るよう、政府に求めます。
- ・過去、国内のレモン農家さんが追い詰められ生計たらず泣く泣く辞めざるを得なくなったように、日本の農家を追い詰める政策は選んではなりません。まして主食。しっかりと農家を守り、自給を上げる事。
- ・消費者としては安いほうがありがたいですが、それだと生産者が持続可能な営農ができないため、それらを両立できるように生産者への所得補償政策をしてほしい。
- ・お米が高級食材のようになっていって、食べ盛りの子ども4人を育てるのは大変な現状です。消費者としては、

お米は高騰以前の価格に戻してくれると助かるけど、米農家さんの立場にたって考えると、今まで価格が労働力とは見合っていなかったのだろうと、このアンケートに答えながら思いました。

- ・政府が農家に補助金を出して、お米やお野菜をたくさん作れるようにして、食料自給率をあげるべきだと思います。
- ・農家が作り続けられるような農業政策、消費者も買える価格に、政府がしっかりすべき。主食は国民が安心して食べられるように確保するのは政府の責任。
- ・自国民を飢えさせないために、農業を守ってほしい。輸入に頼りすぎると輸出国の都合や流通に問題が出たときに、急に食糧が入手できなくなる。
- ・子ども食堂をやっているのにお米が入手難。国からの無料配布も時々ありますが、入荷目処がたちません。
- ・米がなく毎日スーパーを何軒も見にいつてる。小学生の子どももおり、米がないのが本当に辛い。何を買うのも高く、スーパーでも値引き以外は購入できなくなりました。どうにかして欲しいです
- ・基本的にお弁当を作るのでお米がないと本当に困る。パックご飯は高いし炊いたご飯を食べたい。多めに炊いて冷凍する余裕もなく、米が減ってきて次いつ買えるか分からず不安。売っていても躊躇する値段に、さらにプラス消費税、でも買わない訳にもいかず、もう具合悪くなる。
- ・稲作農家さんには事業継続のためにも所得が高くあって欲しいと願う一方、消費者としては給料が安い物価高の中で、価格が安くなければ暮らしていけない現実が。国が所得保障をしてほしいです。
- ・政府の無能ぶりのせいで生産者も消費者も泣かされているのが悔しいです。「お米の代わりにこんな食材で…」とかメディアで紹介され始めると先の戦争後期のように思います。
- ・今の米の価格が農家の労力に見合うだけの適正価格であるならば、そもそも家計の収入が低い事が問題であり、これまでの政府の失策である。
- ・今の米危機は、人々が食と農の大切さに気づいて方向転換できる最後のチャンスかも、という気がしています。国産を求めたり、日本の農業を守ろうということが排外主義・レイシズムと結びつかないよう気をつけたい。

<50代>

- ・利益や効率ばかりを追求しすぎる農政を、この機会に生産者にも消費者にも環境にも優しい、国連の推奨する家族農業を中心とした農政に切り替えて欲しい。
- ・1年前と比べて米価が倍近くになっていることを考えると、消費者として大変であることは実感しています。しかし、それが時給 100 円未満の米農家の犠牲の上に成り立っている安さであれば、消費者も考え直さなければいけないと思う。卵や牛乳も然り。物価の優等生と持ち上げていた卵が、今まで店頭で1個 20 円未満で売られ続けていたことがおかしかったんですよ。
- ・気候変動による影響を本気で心配して、対策をうってほしい。土地に負荷をかける、農薬漬けの農業ではなく、土地の力を高めながら、地域で循環していくような、農業に切り替えて行ってほしい。
- ・小規模農業の果たす役割を大切に所得を保障する方針にすることが結局持続可能な農業と多様性を守ることになると考える。無理のない農業にしなければ農薬などの使用量が増え、遺伝子組み換えなど不自然で大規模なメーカーだけが儲かる仕組みになってしまう。
- ・コメに限らずコムギ、ダイズ、トウモロコシ、野菜など多くの農産物を輸入に頼って、日本の食が成り立っていることに危機感をもちます。地元の農家さんに感謝。
- ・このままの政策が続けば農家をしてくれる人がどんどん先細りになります。自国で食料生産をどう確保するか真剣に考え実行しないと手遅れになってしまいます。党派を越えて農業政策にきちんと取り組んでほしいです。
- ・私の実家は農家です。父が米作りをしていましたが、70 歳を超えて体力的にキツくなり米作りを止め、オジのところから買っていましたが、オジも米作りを止めました。米はタネを蒔いて苗を作ってからやっとなんて田植えをすることが出来ます。そこからまた数ヶ月かかります。田植えをする前は田んぼで準備があります。お米になるまで、ものすごい手間がかかります。5 キロ 2000 円では安いのです。米は高騰していますが、今の方が正規の値段なんだと思います。農家に所得補償して国民には安く提供してほしいです。
- ・米農家さんの高齢化や離農者の増加で、今後日本の米が食べられなくなるのではないかと不安がある。不安定な世界情勢の中で、何か起これば輸入は止まる。もしそうなったら日本は飢える。日本の農業を守ってほしいが、今の政府にその姿勢はみえない。
- ・消費者が農政に関心を持つこと。政府の政策を変えるため動く、結局とどのつまりは、日本の農業を大事にする政権に交代させるため、有権者が尽力することが大事。
- ・「農業者の時給は 10 円」という言葉と「米が高い」という言葉が同時にあるということがおかしい。これまで、自分の労働賃金を考慮しないで米作りをしてきた人が多いし、家族の年金や、サラリーをつぎ込んで機械を購入するなどして米作りをしてきた人も多い。労働の対価として米の値段を適正にしなければいけない。
- ・農家が減って日本はどうなるのでしょうか。海外では、日本の農産物が美味しいと好評と言うテレビ番組を見ましたが、その美味しいと言われる農産物を食べたくても食べれない食べれなくなる この先の不安がつきません
- ・これまでの減反政策がいずれ危機を招くと思っていたのですが、農業は簡単に成長させられるものではないと思

うので、はやく。

- ・生きていくために絶対に必要な食糧を自国で賄う力をつけるのは、政治の責任。地球規模で1000年単位で政治をしてくれる人が必要。SDGSの立場で、農業を捉えてほしいです。
- ・昨年からお米の供給量が減り、「新米が出れば落ち着く」「備蓄米が出れば落ち着く」と言われながらこの状況で、騙された気分です。
- ・価格高騰して農家さんは儲かっていますか？ きちんと利益を得ているなら良いのですが、そうでないならこの価格高騰は理不尽です。
- ・田んぼがなくなると生態系がかわるので心配です 日本の景色も変わり悲しいです

<60代>

- ・減反政策をやめる。農業など第一次産業への予算を増やして食料自給率を向上させる。農薬や遺伝子組み換えなどをやめて、アグロエコロジーなどの有機農業で環境にも人体にもやさしい取組みを推進する。
- ・主食のお米だけは食べられる、と思っていました。結局国の政策いかんで、豊かになるか、飢えるかよくわかりました。今、変えなくては。
- ・政府の農業政策が間違っているから。食糧管理法をなくしてしまったのは大きな間違いだと思います。
- ・第1次産業がないがしろになっているように感じる。自国の国民の食を守る政策を本気で考えて貰わないと、本当に飢える時が来るのではないかと不安になる。
- ・農家が米を作って食べていけるシステムを国が責任を持って作ってほしい。そして消費者には安くて安定的に供給されるようにするのが国の責任と思う。
- ・瑞穂の国、美味しいお米が採れる土地を持っている日本です。減反政策を辞め、価格補償、新規農業従事者を育てる施策をすればいい。輸入ありきの政治は反対！
- ・農家の課題は消費者の食料の問題です。消費者も農業を理解し、安定した食料生産を求める行動が必要。アグロエコロジーは持続可能な食べ方を提示しています。食料の安定供給は農業者の確保です。農業は生き物産業です。農業や漁業の理解を広げる様々な活動が都市部でも必要。農学研究者も多数いるので活用されたい。
- ・全て民間市場に任せるようなことでは米の生産量や価格も把握出来ず、米不足や価格高騰も起こりうる。海外輸出を推進するよりも、まずは国内消費優先。国民の命を守る上でも農業(畜産も)を衰退させてはならない。
- ・異常気象が続くなか、日本人の胃袋は日本産の食糧でまかなうべき！ 他国だって、自分の国の食料生産が落ち込んだら、誰も輸出なんかしない。
- ・米を増産するというが、これまでどんどん減反させてきた政府の責任はどうなのか。一度米作りをやめた田んぼを、美味しいお米のとれる土にするまで1年や2年では到底無理なことを、今の政治家は理解しているのか？
- ・軍事費にいくらお金をつぎ込んで、国を守ることは出来ない。食料品、飼料を輸出ストップされたら日本は飢えてしまう。今の食料自給率を引き上げて酪農、農業を守り育てて欲しい。
- ・今回の食料、農業、農村基本計画は、大規模農業に向いていない日本の事情を無視し、スマート農業ばかりうたっています。農業従事者が安心して農業を続けられることを国の基本にしてほしいです。
- ・米や農産物を農家の方が働いた対価を受け取れるようにして欲しい。外国米の輸入は絶対反対です。
- ・足りない米が高騰するのは当たり前、これまでの政府の減反政策とそれがそのまま引き継がれている今の農政を根本的に変えなければ、若い人達の就農も進むわけがない。
- ・日本人の主食である米が足らなくなるとか、高く買えなくなるなどあり得ない話。政府の失政だと言える。
- ・農業を他の産業の取引材料にしていると思う！ 本当に日本の食を守る意識が国にあるのか！
- ・食糧制度があったように農家と米の価格安定のための下支えが必要。中小規模農家が食べていける農政にしていく。
- ・気候変動や文化が変わっていくことは、歴史的にみても当然のことと思うので、国民が困るであろうことを事前に予測して、困る前に対策して欲しい。
- ・農家の方の収入を時給にした金額を聞いてびっくりしました。どの職種にあっても安心して生活できる対価が支払われることは当然です。気候変動や戦争などで物価が上がり生活が苦しくなっても、全く国民の声に応える対策をしない政府には怒りしかありません。
- ・今回の米不足の前より、自給率の低さに危機感をもって来ました。いよいよ日本人の食糧危機が迫っていると感じます。もっともっと農業従事者が大事にされ、農業に希望が持てるような政策が必要だと思います。
- ・あまりに食糧を外国に依存する政策で危ない。農業のあり方を根本から改め、若い人も参入しやすくしてほしい。
- ・現在の米不足の原因を明らかにしてほしい。食に関するものは自国生産の物が食べたい。生産者への所得補償は必須だ。
- ・きれいな空気、汚染されていない水、安心安全で美味しい食糧を確保することは国の責任で最優先で行うべきこと。国民にひもじいおもいをさせる政府は最低。
- ・生産農家ではなく、いったい誰が、どこで、中抜きしているのか？ 流通を正して欲しい。

- ・高齢化は深刻で、農業を続けられない農家が増えている。年々使われなくなる田畑で農業をやってくれる人がいてくれたらと思う。
- ・米の価格はコストに比較したら安いと思う。高いのは単純に考えたら困るけど、安ければいいだけでは、米農家はいなくなる。
- ・備蓄米が出たのに米価は、安くならないのは、どうしてなのか？ 気候変動で世界的に災害が増えている。だんだん輸入に頼ることが難しくなると思う。高齢者が農業を止めても、若い人は継がないケースが多い。若い人がやる気になるように農業を国が支援をしてほしい!!
- ・どうして急に米が足りなくなったのかをしっかりと突き止めて対応してほしい。米の価格高騰が農家に渡っているのではない。一部のズルい人が儲かっているのなら腹が立つ。
- ・自公政権の農業政策の転換を！食料自給率の向上を！農業軽視の自民党政治を終わらせる！
- ・実家も稲作と酪農の専業農家でした。食の安全保障、災害から国土を守る、さまざまな観点から食と農業を守っていかなければ、国は滅んでしまう。欧米のように、農家の所得補償をすすめ、米価を安定させ、安心して若い人たちが農業を続けていけるようにしてほしい。

＜70代以上＞

- ・農政の失敗のツケを農民や消費者に回していると思います。競争ではなく日本の農業を守り、国民の健康最優先し、そして豊かな暮らしをもたらす政策を打ち立ててほしいです。まともに食事ができない子どもたちや家族がなくなるように心を込めた政策を願います。
- ・食料の60%以上を外国に頼らなければならない国に 未来はありません。先進国？の中でも最低の自給率。食料をちゃんとしておかないとこの国は守れません。特にお米は市場任せにしないで以前のように国がしっかりと管理し農家さんを守り、国民を守ってください。ここに税金を使ってください
- ・輸出米やスマート農業、大型化、米からの転作には補助金が出ると聞きました。稲作農家が減ることを見越してアメリカやベトナムなどで日本人の口に合うお米の栽培も進んでいるとか。亡国の農政です。
- ・言いたいこといっぱいあります。何年も前からノー政の極みです。農業政策無しに等しい。生産者・消費者どちらも安心できる政策をしてほしい。
- ・国民が困る事がわかっていて減反政策、輸入に頼り、日本の農業を支援しない国の過った政策の転換を願います
- ・国民を飢えさせないのが国の政治をつかさどる政治家の仕事だと思います。高いお米を買えない国民がいることを忘れないでほしい。あわせて日本の農業を元気にすることを政治の中心にすえてほしい。
- ・食費は、老夫婦 2 人でもやっぱり削ってはいけないと思います。健康な身体を維持するためには！低農薬で少し野菜を作っていますが、アメリカからの輸入の食品の安全性には、疑問を持っています。
- ・日本は中山間地が多いので、小規模の地域農業を守るべきだと思います。農家への支援を増やしてほしい。
- ・農業は経済性だけでなく国土保全や主権にかかわる問題として取り扱ってほしい。ヨーロッパ並みに国からの個人農家への所得補償や営農支援を大幅に増やす、また、消費者のために価格を安定させるような政治が行われることを望んでいます。
- ・こども食堂や生活困窮者にとってこの米の値段の上昇はどれほどの影響があるのか。食べられず、命を奪われる人はいないか。心配でたまらない。農家が、米作りをやめてしまう事態が広がれば、何百年も努力して積み上げてきた農業への技術の向上、また環境保持、それらが大きくくずれる。
- ・主食のお米自給率 100%を目指して 小規模農家でも生き残れる 農家の所得保障をする。若者が 希望を持って後継者となるよう生活の安定のための保障を！また 消費者に対しては 価格高騰を防ぐために消費税をかけないことにする。
- ・日本の農業政策は間違っています！ 私の実家は養鶏場をしていましたが、飼料の高騰や疫病の発生、経営の大型化等で借金だけが残りました。
- ・真剣に食料自給率を上げる政策を行ってもらいたい。農家には所得保障を、お米の価格保証と合わせ、消費者には安く購入できる仕組みを確立してほしい。
- ・主食である米を満足に食べる事ができない状態を引き起こしたのは誰か。経済力のある者だけが食べることができ、そうでない者は病気になったり、やせ衰え死んでいく。どこが健康で文化的な生活か。これは人権問題である。
- ・政府が国内の農業支援に予算を増やして農業就業者が働きやすく、生活できるようにしてほしい。国内でできることを増やして、アメリカ依存から脱却すべき。
- ・中山間地に住むようになって約40年、家の周りは田畑に囲まれています、米作りを自前でやっている家は数えるほどになり、委託するか耕作放棄地になっています。主食である米の生産、消費を守るため生産者(大小問わず)への所得補償、安価で安全な米の消費が保障される補助金導入や流通経路の見直しなど稲作政策への抜本的な変換を求めます。
- ・地方の中堅都市であるこの町も耕作放棄地が目立ち、荒涼たる風景に暗澹とします。大規模化では無くても、家族農業でしっかり人の手がある農業が成り立つこと施策を望みます。

- ・私は農家育ちです。両親は山を開墾して米を作る政策に乗りました。が、何とその後、減反政策で休田に。両親が開いた田んぼでしたが、弟は離農しました。日本政府の農業政策に怒っています。
- ・農業では生活できないので、価格保障をしてほしい。今ならまだお米が採れるので、農業支援をしてほしい。私の近くも、高齢化が進み、後5年もするとこの田圃が無くなって終うね！　どうなるの？と深刻です！
- ・日本で食べる米が足りなくなるなんて、思ってもみなかった。どうしてこんな事態を引き起こしたのか、国民全体が国策の課題として考える機会になると良いと思う。
- ・減反など作らない事に褒美を出し、頑張って作っている農家を圧迫する。酪農で、牛を殺す事に補助を出すやり方と同じ、こういう政治は言語道断。
- ・毎月、生協で米を買ってきたが、このところ数量制限あり、抽選になった。そして、なんと5回連続抽選に外れた。仕方なくスーパーに買いに走った。スーパーの棚にあるうちはそれでも間に合うが、果たして今年の夏も米不足、手に入らなくなると不安。
- ・私には8人の孫がいます。10歳から23歳食べざかり。米好きです。娘たち親は悲鳴をあげています。
- ・備蓄米放出とテレビ映像を流していますが米、はどこに行っているの？　何故？　きちんと報道してほしいです!!
- ・生産者が守られてない。価格高騰で利益を得ているのは、農家でなく、投機目的で買い占めている中間業者だと思う。備蓄米放出も効果感じられない。